

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ		必修 (精) 選択 (社.心)	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 典子 他	B312	noriko.Watanabe	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 精神保健福祉士の誕生以来、支援の対象者や領域は拡大し、社会の期待感も高まりその役割も質の高い専門性が求められている。本科目では、精神保健福祉士が実践する相談援助の形成過程や相談体系、及び専門職としての概念と権利擁護について学習し、精神保健福祉士の役割を理解することを目的とする。また、精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助と多職種連携について学習し技術を身につける。</p> <p><概要> 本講義は、登校型授業講義で実施する。課題学習ではテキストを基にしたレジュメを提示し、授業では前回の振り返り、講義、リアクションペーパーの作成の構成で理解を深める。</p>				
学習上の助言	相談援助の価値と理念について復習しておくこと。精神保健福祉士を取り巻く社会的な環境や期待される役割も大きく変化していることを常にイメージして授業に取り組んで欲しい。				
教科書	新・精神保健福祉士養成講座 精神保健福祉相談援助の基盤 (基礎・専門) 第2版 /日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版				
参考書	指定参考書なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	相談援助の形成と体系を理解し、説明することができる。		HSU④、WP②		
②	精神保健福祉分野における専門職の概念と範囲を理解し、説明することはできる。		HSU②⑥、WP②③		
③	精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割を習得し、説明することができる。		HSU①②④、WP①②		
④	精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助と多職種連携を理解し、説明ができる。		HSU①、WP②③		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。授業概要を理解し、精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰの振り返りをする。	登校型授業講義	精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰを復習しておくこと。	2	
2	【第5章 相談援助の形成過程】ソーシャルワークの源流と形成過程について学習する。	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
3	日本におけるソーシャルワークの形成過程と精神保健福祉分野におけるソーシャルワークについて学習する。	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
4	【第6章 精神保健福祉分野における相談援助の体系】精神保健福祉分野における相談援助活動の対象について学習する。	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
5	精神保健福祉分野における相談援助の活動の目的と意義・援助活動の現状と今後の発展について学習する。	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
6	【第7章 精神保健福祉分野における専門職の概念と範囲】精神保健福祉分野における専門職の概念と理念を学習する。	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
7					
8	【第8章 精神障害者の相談援助における権利擁護の意義とその範囲】権利擁護の概念とその範囲を学習する。	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
9	精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割について学習する。レポート課題に取り組む。	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
10	精神科医療と人権擁護、人権にかかわる精神保健福祉士の現状と問題点と、専門職の倫理と倫理的ジレンマについて学習する	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
11	【第9章 精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助と多職種連携】 総合的・包括的な援助を支える理論を学習する。①	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。ジレンマについて考えておく。	4	
12	【第9章1節】精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助と多職種連携総合的・包括的な援助を支える理論を学習する。②	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
13	【第9章2節】総合的・包括的な援助の機能と概要を学習する。①	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
14	【第9章3節】総合的・包括的な援助の機能と概要を学習する。②	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	6	
15	【第9章4節】多職種連携・チームアプローチ意義と概要、多職種連携における精神保健福祉士の役割について学習する。	登校型授業講義	事前にテキストを読んでおく。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

試験		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	90	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	25	0	0	0	25
	思考・推論・創造する力	0	25	0	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	10	30
	問題を発見・解決する力	0	15	0	0	0	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	1)課題レポート（14 回目までに提出すること） 精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割について、論文化する。 ①学んだ知識、②思考、推論されているか、③問題を発見する力、④現実検討力の 4 つの項目にて評価を実施する。 2)定期試験はレポートとする。 テーマ、書式については 15 回目授業にて説明する。				1)課題レポートは書式自由とし、コメントをつけて返却する。 2)定期試験レポートは採点をして Teams にて返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	シラバスとリアクションペーパーが 1 つになった資料を毎回教員と学生で交換をすることで、シラバスを有効活用し授業への質疑応答と、授業での参加度を確認する。				授業で学んだこと、理解したこと、質問を次の授業 2 日前に提出する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業で実施するが、大学が公表している感染対策及び教員が示す方法を遵守すること。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によっては Teams を使った同時双方向型授業もあり得る。 ・Teams を使った同時双方向型授業になった場合は、授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨する。 ・精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。 							
教員の実務経験： 精神保健福祉士を平成 18 年に取得し、15 年の実務経験。（11 回目以降、田村正人が担当する）							
実践的授業の内容： 教員が実際に現場で担当している事例等を用いながら（個人を特定できないよう加工修正）、教科書の理論について現場の実践内容を踏まえて説明し、実践と理論の双方からソーシャルワークを理解できるように工夫する。							